



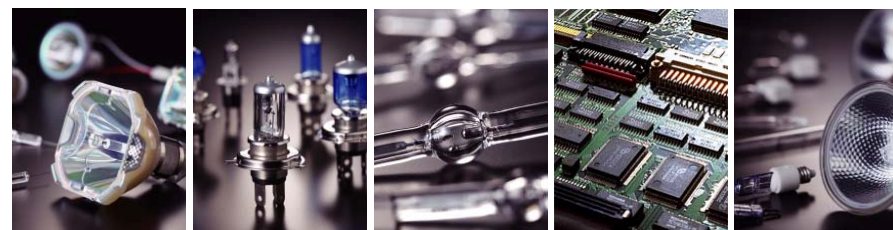
Helios Techno

2013年3月期 決算概要



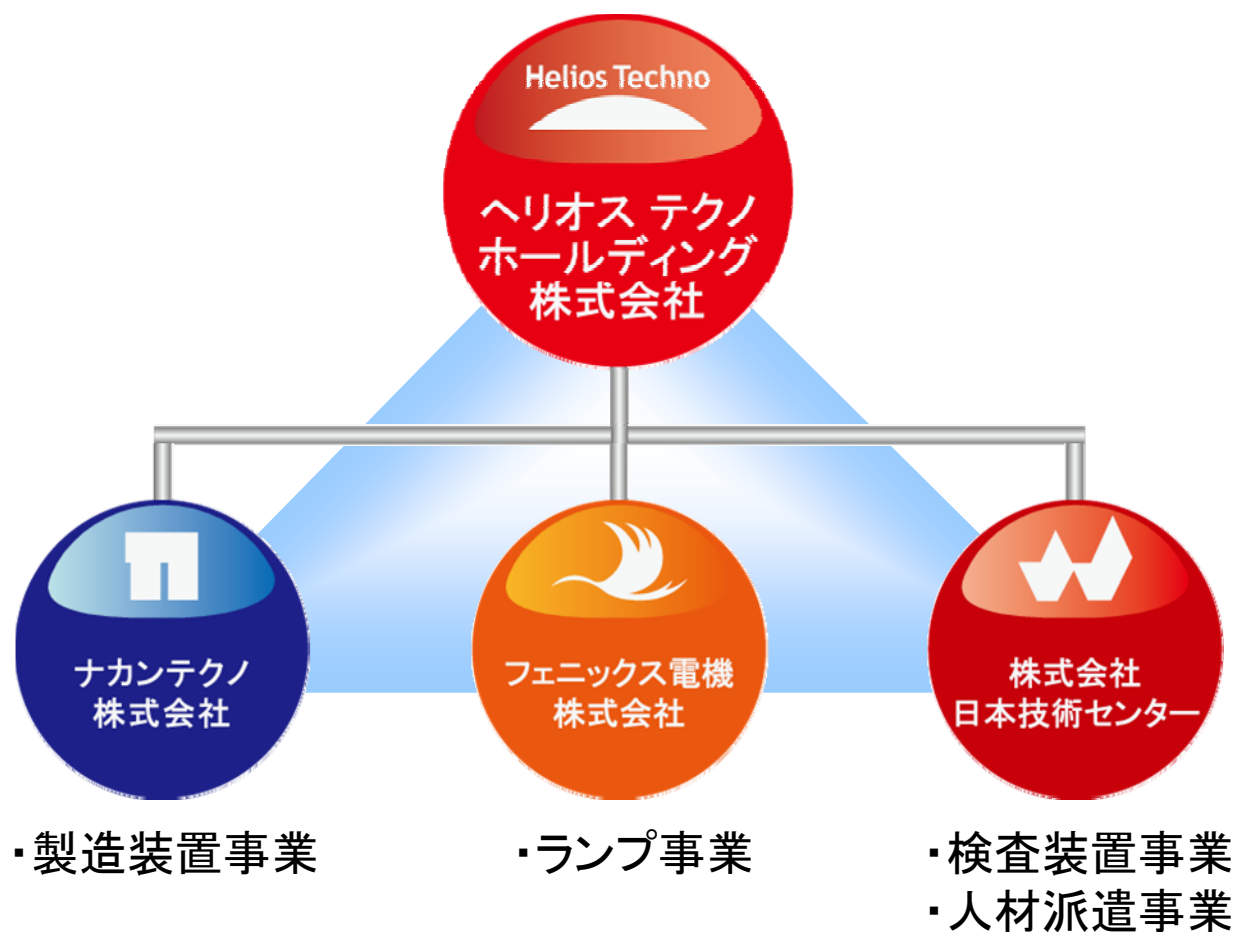
ヘリオス テクノ ホールディング株式会社

www.heliostec-hd.co.jp





当社グループは、「ランプ事業」(フェニックス電機)、「製造装置事業」(ナカンテクノ)、「検査装置事業」「人材派遣事業」(日本技術センター)」を融合させ、相乗効果により事業の拡大と株主価値の創出をめざしています。





会社概要

商 号	ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 (Helios Techno Holding Co.,Ltd)
所 在 地	兵庫県姫路市豊富町御蔭703番地 〒679-2122
設 立	1976年10月
資 本 金	2,133百万円
代 表 者	代表取締役社長 斉藤 定一
株 式	東証1部、ジャスダック（証券コード:6927）
事 業 内 容	関係会社の経営管理、コンサルティング並びにそれに付随する業務
連 結 子 会 社	フェニックス電機株式会社 株式会社日本技術センター ナカンテクノ株式会社



連結子会社の概要

	フェニックス電機	日本技術センター	ナカンテクノ
所在地	兵庫県姫路市	兵庫県姫路市	千葉県佐倉市
設立	2009年4月	1967年5月	2009年6月
資本金	9,000万円	6,400万円	9,000万円
代表者	代表取締役社長 田原 廣哉	代表取締役社長 竹中 隆	代表取締役会長 斉藤 定一 代表取締役社長 佐藤 良久
事業内容	▶プロジェクター用ランプ・ハロゲンランプ（一般照明用、自動車用）、LEDランプ、露光装置用光源ユニットの製造、販売	▶技術者派遣 ▶検査装置・計測装置の開発、製造、販売	▶液晶製造装置の開発、製造、販売 ▶高精密印刷装置の開発、製造、販売 ▶印刷機械周辺部材の製造、加工、販売

Helios Techno

2013年3月期
実績



連結損益計算書 要約

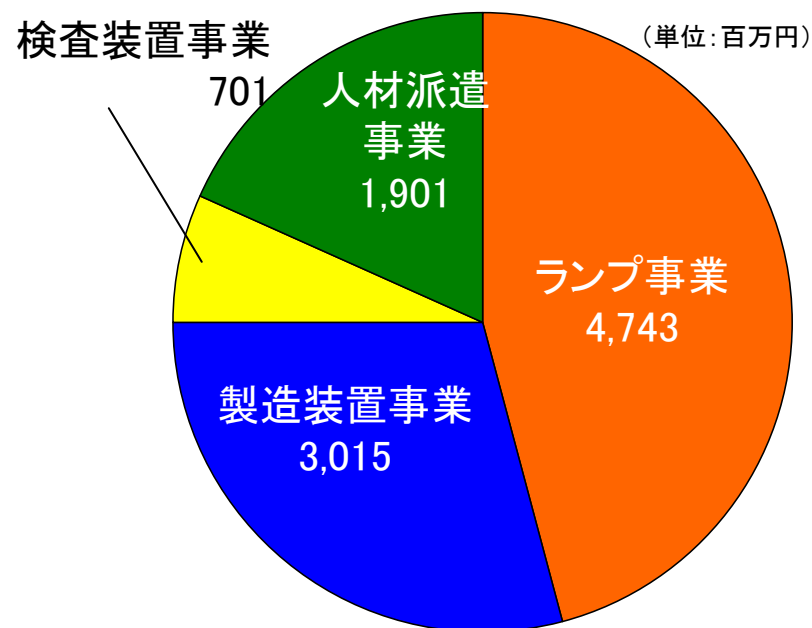
(単位: 百万円)

	実 績	前期実績	差 異	計 画(※)	差 異
売上高	11,139	10,056	1,083	11,178	△ 38
営業利益	351	△ 533	884	326	25
(営業利益率)	(3.1 %)	(△ 5.3 %)	—	(2.9 %)	—
経常利益	431	△ 315	747	380	51
(経常利益率)	(3.8 %)	(△ 3.1 %)	—	(3.3 %)	—
当期純利益	443	△ 1,256	1,700	400	43
(当期純利益率)	(4.0 %)	(△ 12.4 %)	—	(3.5 %)	—
1株あたりの 当期純利益 (円)	26.82	△ 75.95	102.77	24.17	2.65

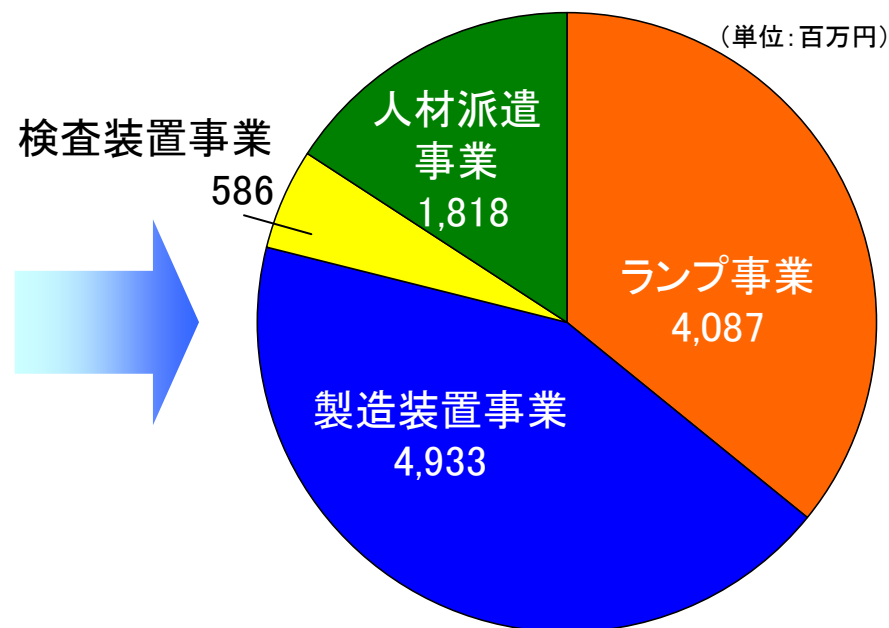
(※)2012年11月9日に業績修正を発表いたしました。

セグメント別売上高

＜前期実績＞



＜当期実績＞



(単位: 百万円、%)

セグメント	前 期 実 績			当 期 実 績		
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益
ラ ン プ 事 業	4,743	47.2	26	4,087	36.7	210
製 造 装 置 事 業	3,015	30.0	△ 261	4,933	44.3	440
検 査 装 置 事 業	701	7.0	△ 4	586	5.3	38
人 材 派 遣 事 業	1,901	18.9	86	1,818	16.3	8
調 整 額	△ 305	△ 3.1	△ 380	△ 287	△ 2.6	△ 347



ナカンテクノの開発への取組み

ナカンテクノは、タッチパネル製造に適合した印刷技術の開発に取り組んでいます。

OGS方式タッチパネル断面図

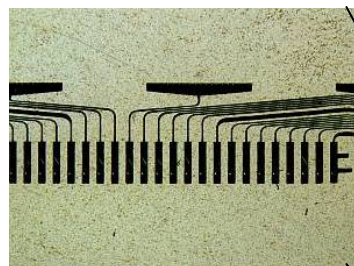


- (1) BM
(3) Metal Trace
(2) OC1
(4) OC2

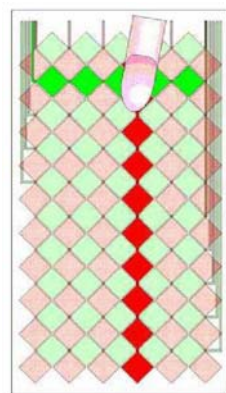
	従来工法	新工法 (ナカンテクノ開発)
(1) BM	スクリーン印刷 (or Photo)	インクジェット印刷
(2) OC1(絶縁膜)	Photo	インクジェット印刷
(3) Metal Trace	PVD → Photo → Etch	グラビアオフセット印刷
(4) OC2(絶縁膜)	Photo	フレキシソ印刷

ナカンテクノの印刷技術応用例

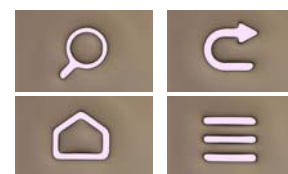
(3)部分 端子部
グラビアオフセット



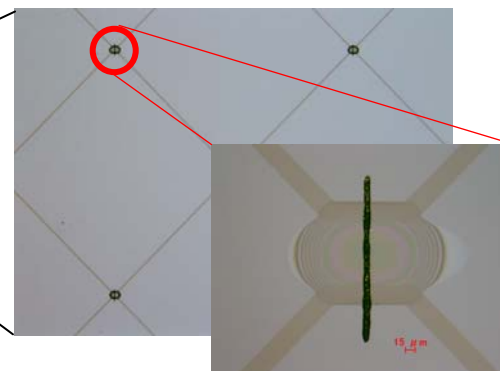
(3)部分 配線部
グラビアオフセット



(1)部分 ブラックマスク(遮光膜)
インクジェット



(2)部分 パターン部絶縁膜
インクジェット



印刷方向
↓

タッチパネル方式・構造とナカンテクノ対応装置

- OGS主軸に投資進んでいく。
- タブレット用TP生産に向けG5.5以上の大型化も進む。
- 材料開発により印刷プロセスは更に進んでいく。

構造	特長・採用動向	ナカンテクノ対応装置
(G)G	参入メーカー多数 中国タッチパネルメーカーが新規参入 課題である重さは、スマートフォンサイズであれば問題小 iPhone4・4S	コスト低減の為、現行の露光プロセスから印刷化 IJ フレキシ グラビア
(G)FF	抵抗膜メーカーを中心に、日本・台湾・韓国メーカーが参入・ 中国タッチパネルメーカーが新規参入 ローエンドを中心にコスト競争が進む 狭額縁タイプが実用化 ITOフィルムの供給問題 htc One X+ htc J Butterfly	フィルム基板採用により印刷プロセスが有効 IJ フレキシ グラビア
OGS	センサー基板が不要となり理論的には重量・厚み問題を解消 シートタイプではカット工程の歩留りと端面未強化による強度の低下が課題 ピースタイプでは量産性の向上が課題 Nokia Lumia	当期、中国企業様に採用 グラビア採用に細線へ取組み中 IJ フレキシ グラビア
On・In-Cell	センサー基板の厚みを削減しつつCG形状の選択肢が広い ドライバーICとのタッチコントロールICとのインテグレートで周辺もスリム化。On-Cellは歩留り安定 In-Cellでは歩留り改善が課題 iPhone5	オンセル向け絶縁膜塗布 G6規模のインクジェット 日本国内開発中

海外主要顧客分布図(中国)



人材派遣事業の拡大

株式会社 関西技研

- 住 所 : 姫路市広畑区西蒲田1690番地
- 事業内容: 人材派遣、機械設計及び製造
- 売 上 : 228,868千円 (平成24年12月期)
- 主要取引先: 三菱電機、大和工業、虹技
日本化薬

なお、平成25年8月1日効力発生日の予定で株式交換
(簡易)を行う予定です。

Helios Techno

通期の見通し



2014年3月期見通し

(単位:百万円)

	2014年3月 計画	2013年3月 実績	差 異
売上高	13,000	11,139	1,860
売上総利益	3,200	2,794	405
(営業利益率)	(24.6%)	(25.0%)	
営業利益	550	351	198
(営業利益率)	(4.2%)	(3.1%)	
経常利益	550	431	118
(経常利益率)	(4.2%)	(3.8%)	
当期純利益	400	443	△ 43
(当期純利益率)	(3.0%)	(4.0%)	
1株あたりの 当期純利益 (円)	24.17	26.82	△ 2.65



本資料の取扱いについて

本資料には、当社または当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)のもとになされています。

これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

当資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についてこれを保証するものではありません。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようにお願いいたします。

お問い合わせ先

ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 統括管理部

兵庫県姫路市豊富町御蔭703番地 〒679-2122

Tel.079-263-9500 Fax.079-263-9501

URL <http://www.heliostec-hd.co.jp>